私たちがつくった紙面です

笠岡市立神内小学校

神内小

前田 悠里（6年）書

【所在地】笠岡市神島3984
【校長】小寺　稔
【児童数】121人
【教育目標】「あたたかい心と確かな力を育てる」
・進んで学ぶ子
・思いやりのある子
・元気な子
【沿革】明治6年、神島小学校として創立。昭和22年に岡山県小田郡神内小学校、同28年に笠岡市立神内小学校に改称。神島は、古くから信仰の島として神島八十八カ所霊場があることで有名である。学区は、神島大橋の架橋や笠岡湾干拓によって陸続きになったことで交通の便がよくなり、宅地化が進んでいる。児童は、豊かな自然の中で明るくのびのびと育っている。平成24年に「食に関する指導」の推進に対して文部科学大臣表彰を受賞した。

運動会

楽しくがんばった

5月24日に運動会がありました。午前は小学校・保育所の部、午後は公民館の部となっており、保護者や地域の方々と楽しく一日を過ごしました。

■■

わたしは、ダンスのはん長になりました。一番前でおどるので、きんちょうするけど1、2年生のお手本になれるようにがんばっておどろうと思いました。本番では、え顔で大きい動きでおどりました。終わってお父さんとお母さんのところに行くと「よかったよ」とほめてくれたので、がんばってよかったと思いました。（3年　藤井夢生香）

◇

ぼくは組み体操を毎日暑い中、がんばってきたので絶対成功させるぞ、と思いました。本番では、大技のレインボーブリッジも今までで一番うまく決まり、大成功しました。（4年　前田貫汰）

◇

リレーがぼくの一番好きな競技です。第一走者なのでかなり緊張しました。バトンパスのとき「GO」の合図がいいタイミングで言えて、バトンゾーンの中でスピードが落ちずに最高のパスができました。（5年　大本健介）

応援（おうえん）合戦の様子。「最強だー　へイー」

土曜開放事業

保護者、地域の方々と交流

地域の方々の太鼓に合わせて盆踊りを練習しています＝2013年7月

神内小学校では、年に3回、保護者や地域の方々と一緒に土曜開放事業をしています。第1回は7月に公民館や地域の方から盆踊りを教えてもらいます。

音頭と太鼓の音に合わせて、1年生から6年生までが大きな輪になって踊ります。魚をすくう様子をイメージしながら、うちわをもって振り付けを教えてもらいます。手と足の動きや振り返るタイミングを合わせるのが難しいです。今年もあるので、夏の盆踊りの本番に向けてがんばりたいと思っています。

その後は、楽しみにしているそうめん流しです。半分に割った竹をつなげて、上から大人の人に流してもらいます。みんな必死にはしでそうめんを取って食べます。そうめんを取るのも食べるのも大勢なので楽しいし、盆踊りで汗をかいた後なのでとてもおいしいです。

あとの2回は、10月に神島八十八カ所巡り、12月にしめ縄づくりと焼き芋をします。今から楽しみです。（5年　高見弥央、伊藤江弥璃、濱野明）

竹の切り出しからすべて保護者でつくったそうめん流しです＝2013年7月

1年生歓迎遠足

みんなで「ジャンケン列車」をして遊びました

上級生と仲良く

5月1日に全校で、カブトガニ博物館、恐竜公園へ1年生歓迎遠足に行きました。

■■

ぼくは、みんなで遊ぶとき、ルールがわかりやすいようにゲームのお手本をしました。「ジャンケン列車」と「猛獣狩りへ行こう」のゲームでは、1年生が楽しんでくれて、みんなで盛り上がりました。1年生もたくさんの上級生とふれあって仲良くなれたと思います。これからも、みんなで協力して楽しい学校にしていきたいです。（6年　脇田周登）

◇

ぼくは、じゃんけんれっしゃのちゃんぴおんになりました。うれしかったです。はんのひとと こおりおにもしました。たのしかったです。（1年　濱崎和馬）

◇

わたしは、6ねんせいやみんなからぷれぜんとをもらいました。こまやしたじきをもらいました。うれしかったです。（1年　中川結菜）

図画工作で表彰うれしかった

池田清明賞

池田清明先生と記念撮影（さつえい）をしました

神内小学校では毎年、本校出身の洋画家、池田清明先生を審査員としてお招きし、図画工作をがんばった児童を表彰しています。

■■

わたしは「森の中のふしぎな家」をかきました。ブランコやハンモックがあって、ウサギやクマたちといっしょにくらせる木の家です。しょうにえらばれてびっくりしたけどうれしかったです。（2年　遠藤ひより）

◇

わたしは「リコーダーを吹くわたし」を紙はんがで作りました。絵をかくのが好きなので、賞に選ばれてとてもうれしかったです。少しむずかしかったけど、がんばってよかったと思いました。（4年　脇田こころ）

◇

ぼくは「鍵盤ハーモニカ大好き」を描きました。清明先生から「鍵盤を弾いている手と楽器を支えている手の違いがよく表現できている」とほめてもらえて、とてもうれしかったです。また、ぼくをモデルに絵を描いてもらって宝物になりました。清明先生に少しでも近づけるようにがんばりたいです。（5年　武内勇樹）

笠岡東地区一斉あいさつ運動

笑顔でめざせ！日本一

神内小学校では、児童会を中心に毎月10日に「一斉あいさつ運動」に取り組んでいます。あいさつ運動には、笠岡東中学校や笠岡工業高校のお兄さんお姉さんが来てくださり、私たちと一緒に学校の坂の下に並んで、登校してきたみんなにあいさつをしています。

神内小学校には、あいさつ運動の合言葉として「えおだいじに」があります。「え」は笑顔で、「お」は大きな声で、「だ」は誰にでも、「い」はいつでも、「じ」は自分から、「に」は日本一のあいさつです。

今のあいさつはまだ「笑顔」で「誰にでも」ができていないので、「えおだいじに」を全校のみんなができるように呼びかけていきます。気持ちのよいあいさつを心がけ、神内小学校があいさつ日本一の学校になるようにこれからもがんばっていきたいです。（6年　伊藤瑠彩、伊藤沙羽、大本優衣菜）

小中高で連携（れんけい）してあいさつ運動をおこなっています

給食集会

食事の大切さを学ぶ

神内小学校では、毎年3学期に給食集会を行っています。給食集会では、食に関する紙芝居やクイズを行ったり、みんなで3レンジャーの踊りに合わせて「神内小もりもりレンジャー」の歌を歌ったりします。

3レンジャーとは、神内小学校の栄養キャラクターで、赤色は「たんぱくん」、黄色は「エネルン」、緑色は「ととのくん」といいます。

昨年度も集会に登場すると、とても盛り上がりました。

昨年度の紙芝居では「食いしんぼうのパークパク」という赤黄緑のバランスのよい食事の大切さを教えてくれるお話をしました。読む速さがむずかしかったけど、1年生から6年生まで楽しく見てくれました。

3択クイズでは、問題の出し方を工夫したり、楽器をならしたりして、みんなで楽しめました。給食集会は、1年に1度しかないので、今からみんな楽しみにしています。（6年　西原百佳、藤原弘果、前田悠里）

役立つ栄養「3レンジャー」参上